

琉球大学学術リポジトリ

1972年の沖縄返還時の有事の際の核持ち込みに関する「密約」に係る調査関連文書No.2

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-15 キーワード (Ja): 核持ち込みに問題, ジョンソン次官 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43897

c

c

62

(回覧番号) 外務省電信案 (分類)

機密表示 (極秘・秘の朱印) 特秘	符号表示 暗 略 平 第 364 号	総第 20331 号 昭和 44 年 5 月 2 日 0 時 分
大至急 至急 普通 LTF		発電係

大臣 政務次官 事務次官 外務審議官 外務審議官 官房長	主管 米石超 米芳 北平一	主管局部課(室)名 米石超 起案 昭和 44 年 5 月 2 日 起案者 電話番号
---------------------------------------------	------------------------	----------------------------------------------------

協議先

在 英 陽川 (大使) 臨時代理大使
総領事 代理 大平 大臣 發

電 在 大使 臨時代理大使
報 報 総領事 代理 大平

件名 沖繩問題

愛知大臣へ車印アリカ局長より

本館ワシントン滞在中の控存は累次電報

のとありのとに補足等々以下申進める。

1. 國務省及び大隈領府事務省等はよく

検討を進めてあり6月の大臣訪米の際は

2 197 字 済

(※印欄内は電信課記入)

(昭和四二・七一改正)

GB-

半政府として実質的協会に臨む気持を
充分なるを感じせしめた。

2. 先づ自由土壌の問題については軍事的
に満足し得べき了解に達したる上核の
問題に對文しよとすべくである。

3. 核については通達時以後も「在るか
ないか分らない」と云う状態を著く希望
して「子か」前記の如く先づ自由土壌
の協定を考へてみるよである。

4. 總理の御希望により 2日午後侍音報
告を行つた(同席者なし)際 ^(一般の印象の) ~~は~~
ほか上記2日及び3日に関し 半島は自由土壌に
ついて満足したる了解を得る
印象(を)申上げ ~~た~~ ~~前記~~
 ^(これ限り核については腹を割らぬと見ゆべき) ~~た~~ ~~は~~
 ~~及~~ ~~び~~ ~~子~~ ~~は~~ 半島は自由土壌を重視し
核は二の次である」と云う理解を述べ
おそれあり總理に報告申上げたるに

GB-3

外務省

外は最に伏せぬ。専ら長官及び
副長官は別途6日午場次官の
会議の際報告する予定である。